

発議案第 2 号

準用河川金谷川改修工事の早期完成を求める決議について

上記議案を会議規則第 14 条第 1 項の規定により、別紙のとおり提出します。

令和 4 年 1 2 月 1 日

大網白里市議会議長 北田 宏彦 様

提出者	産業建設常任委員会	委員長	中野 修
賛成者	同	副委員長	秋葉 好美
	同	委員	林 正清子
	同	委員	石渡 登志男
	同	委員	田辺 正弘

提案理由

準用河川金谷川改修工事は、単なる河川改修事業にとどまらず、防災・減災対策や、大網駅周辺の交通円滑化にも寄与する大変重要な事業であるところ、工事は進捗が見られず、明確な見通しも立っていない状況にあります。

駅周辺の交通環境の改善や、大雨等による浸水被害に対する周辺住民の不安軽減のためにも一日も早い当該事業の完成は喫緊の課題であり、このことを執行部に対し強く要請するため、本決議を提案するものです。

準用河川金谷川河川改修工事の早期完成を求める決議（案）

準用河川金谷川改修工事については、単なる河川改修事業にとどまらず、大網駅周辺の浸水被害の軽減等、防災・減災対策に寄与するものであり、さらに、金谷川に並行する道路の整備により、現在一方通行となっている金谷川側道の交互通行化や、J R 東金線高架下の県道直進化等によって駅周辺の交通の円滑化が期待されるなど、多くの市民に恩恵をもたらすことが期待される大変重要な社会資本整備事業である。

また、本件に関しては、令和4年大網白里市議会第4回定例会において、関係諸団体から当市議会に対して金谷川河川改修工事の早期完成を求める陳情書が提出されており、これを採択したところである。

しかしながら、本事業は、平成15年に事業着手してからすでに20年近くが経過しているが、現時点で全体区間460メートルのうち132メートルの区間しか終了しておらず、全体の3割程度しか進捗していない上、難航する用地交渉等を理由に今後の明確な見通しも立っていない状況にある。

このことにより、駅周辺の交通環境改善が先送りとなるばかりか、令和元年の大雨などによる冠水被害を受けた地域住民の不安や心配が長期化することとなり、さらには上流で行われている山辺土地改良事業等にも影響を及ぼす可能性があるなど、市としても住民としても、将来にわたり大きなリスクを背負うことにつながりかねないものである。

したがって、執行部におかれては、本事業の必要性、重要性を十分に再認識されるとともに、専門的な知見の活用等を含め事業の進捗に向けたあらゆる可能性を探り、必要な措置を講ずることにより一日も早い工事完成を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和 年 月 日

大網白里市議会